

令和4年度 自己点検・評価書

令和5年7月

佐賀大学
全学教育機構

I 現況及び特徴

1. 組織名 佐賀大学全学教育機構
2. 所在地 佐賀市本庄町1番地
3. 教育研究上の組織

教育組織	英語部会 共通教職保健体育部会 共通基礎情報部会 基本教養自然科学と技術部会 基本教養文化部会 基本教養現代社会部会 基本教養総合科目部会 インターフェース環境部会 インターフェース文化と共生部会 インターフェース生活と科学部会 インターフェース人間と社会部会 インターフェース医療・福祉と社会部会 インターフェース地域・佐賀学部会 初年次教育部会 外国人留学生教育部会 副専攻部会 大学院教養教育部会
支援組織	教学マネジメント推進室 生涯学習センター 数理・データサイエンス教育推進室 ICT教育推進室

4. 学生数及び教員数（令和4年5月1日現在）

学生数	学部 5,716 人、大学院 782 人（佐賀大学在学生数として）
教員数	専任教員数：14 人

II 目的

全学教育機構は、佐賀大学（以下「本学」という。）の目的、使命にのっとり、本学の共通教育、国際教育、高等教育開発及び教学マネジメント並びに本学の教育における情報通信技術の活用支援を総合的に行うことにより、「佐賀大学学士力」に基づく学士課程教育の質保証に資することを目的としている。

また、全学教育機構は、本学の目的、使命にのっとり、本学の大学院に置く各研究科における大学院教養教育を支援すること、及び本学の生涯学習を推進することを目的とする。

Ⅲ－Ⅰ 教育に関する状況と自己評価

領域 1 教育研究上の基本組織に関する基準

基準 1－1 教育研究上の基本組織が、大学等の目的に照らして適切に構成されていること

分析項目	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
[1-1-1] 学部及びその学科並びに研究科及びその専攻の構成（学部、学科以外の基本的組織を設置している場合は、その構成）が、大学及びそれぞれの組織の目的を達成する上で適切なものとなっていること	・佐賀大学全学教育機構規則（資料 1-1-1-1） ・佐賀大学全学教育機構組織運営規程（資料 1-1-1-2） ・令和 4 年度全学教育機構組織運営体制（令和 4 年 4 月 1 日現在）（資料 1-1-1-3）	・学部・研究科規則 ・基本計画書	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある
<p>（自由記載欄） ※基準に係る状況・特色、優れた成果が確認できる取組、根拠資料だけでは説明が難しいものに関する補足説明など、自由に記載ください。</p> <p>特になし</p>			

【改善を要する事項及び改善状況】

改善を要する事項	改善計画・改善状況	進捗状況
・特になし		<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()

基準 1－2 教育研究活動等の展開に必要な教員が適切に配置されていること

分析項目	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
[1-2-1] 大学設置基準等各設置基準に照らして、必要な人数の教員を配置していること	・全学教育機構専任及び併任の教員一覧（令和 4 年 10 月 1 日現在）（資料 1-2-1）	・認証評価共通基礎データ（様式 1）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある
[1-2-2] 教員の年齢及び性別の構成が、著しく偏っていないこと	・教員の年齢別・性別内訳（資料 1-2-2）	・（別紙様式 1-2-2）教員の年齢別・性別内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある
<p>（自由記載欄） ※基準に係る状況・特色、優れた成果が確認できる取組、根拠資料だけでは説明が難しいものに関する補足説明など、自由に記載ください。</p> <p>特になし</p>			

【改善を要する事項及び改善状況】

改善を要する事項	改善計画・改善状況	進捗状況
1-2-2 より高度なコミュニケーションができる英語能力向上を目指す英語教育改善のために専任のネイティブ教員の配置が必要である。	英語のネイティブ教員の新規配置を要望する。	<input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()

基準 1-3 教育研究活動等を展開する上で、必要な運営体制が適切に整備され機能していること

分析項目	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
[1-3-1] 教員の組織的な役割分担の下で、教育研究に係る責任の所在が明確になっていること	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀大学基本規則（資料 1-3-1-1） ・佐賀大学全学教育機構規則 ・佐賀大学全学教育機構組織運営規程 ・令和 4 年度全学教育機構組織運営体制（令和 4 年 4 月 1 日現在） 	<ul style="list-style-type: none"> ・（別紙様式 1-3-1）教員組織と教育組織の対応表 ・国立大学法人佐賀大学基本規則 ・責任者の氏名が分かる資料 	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある
[1-3-2] 教授会等が、教育活動に係る重要事項を審議するための必要な活動を行っていること	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀大学全学教育機構規則 ・令和 4 年度全学教育機構運営委員会委員名簿（令和 4 年 4 月 1 日現在）（資料 1-3-2-1） ・令和 4 年度における全学教育機構運営委員会開催実績一覧（資料 1-3-2-2） 	<ul style="list-style-type: none"> ・（別紙様式 1-3-2）規定上の開催頻度と前年度における開催実績一覧 ・各学部教授会規則 ・各研究科委員会規則 	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある
[1-3-3] 全学的見地から、学長若しくは副学長の下で教育研究活動について審議し又は実施する組織が機能していること			<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある
（自由記載欄） ※基準に係る状況・特色、優れた成果が確認できる取組、根拠資料だけでは説明が難しいものに関する補足説明など、自由に記載ください。 特になし			

【改善を要する事項及び改善状況】

改善を要する事項	改善計画・改善状況	進捗状況
・特になし		<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()

領域2 内部質保証に関する基準

基準2-1 【重点評価項目】内部質保証に係る体制が明確に規定されていること

分析項目	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
[2-1-1] 大学等の教育研究活動等の質及び学生の学習成果の水準について、継続的に維持、向上を図ることを目的とした全学的な体制（以下、「機関別内部質保証体制」という。）を整備していること			<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある
[2-1-2] それぞれの教育研究上の基本組織が、教育課程について責任をもつように質保証の体制が整備されていること	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀大学全学教育機構組織運営規程 ・佐賀大学における質保証の体制及び自己点検・評価の手順に関する細則（資料2-1-2-1） ・佐賀大学における質保証の体制及び自己点検・評価の手順に関する申合せ（資料2-1-2-2） 	<ul style="list-style-type: none"> ・（別紙様式2-1-2）教育研究上の基本組織一覧 ・佐賀大学における質保証の体制及び自己点検・評価の手順に関する細則 ・佐賀大学教育コーディネーター制度実施規程 ・佐賀大学教育コーディネーター会議内規 	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある
[2-1-3] 施設及び設備、学生支援並びに学生の受入に関して質保証について責任をもつ体制を整備していること	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀大学全学教育機構規則 ・質保証について責任をもつ体制への構成員等の一覧（資料2-1-3） 	<ul style="list-style-type: none"> ・（別紙様式2-1-3）質保証について責任をもつ体制への構成員等の一覧 ・佐賀大学における質保証の体制及び自己点検・評価の手順に関する細則 	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある
（自由記載欄） ※基準に係る状況・特色、優れた成果が確認できる取組、根拠資料だけでは説明が難しいものに関する補足説明など、自由に記載ください。 特になし			

【改善を要する事項及び改善状況】

改善を要する事項	改善計画・改善状況	進捗状況
・特になし		<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他

基準 2-2 【重点評価項目】 内部質保証のための手順が明確に規定されていること

分析項目	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
<p>[2-2-1] それぞれの教育課程について、以下の事項を機関別内部質保証体制が確認する手順を有していること (1) 学位授与方針が大学等の目的に則して定められていること (2) 教育課程方針が大学等の目的及び学位授与方針と整合性をもって定められていること (3) 学習成果の達成が授与する学位に相応しい水準になっていること</p>			<p><input type="checkbox"/> 適切である</p> <p><input type="checkbox"/> 改善を要する点がある</p>
<p>[2-2-2] 教育課程ごとの点検・評価において、領域 6 の各基準に照らした判断を行うことが定められていること</p>	<p>・ 佐賀大学全学教育機構における教育点検・改善実施要項 (資料 2-2-2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ (別紙様式 2-2-2) 教育課程における評価の内容を規定する規定類一覧 ・ 佐賀大学学士課程における教育の質保証に関する方針 ・ 佐賀大学学士課程における教育の質保証の推進に係るガイドライン ・ 佐賀大学大学院課程における教育の質保証に関する方針 ・ 佐賀大学大学院課程における教育の質保証の推進に係るガイドライン ・ 各教育課程における教育課程点検・改善実施要項 ・ 佐賀大学教育コーディネーター制度実施規程 	<p><input checked="" type="checkbox"/> 適切である</p> <p><input type="checkbox"/> 改善を要する点がある</p>

<p>[2-2-3] 施設及び設備、学生支援、学生の受入に関して行う自己点検・評価の方法が明確に定められていること</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・(別紙様式 2-2-3) 自己点検・評価の実施時期、評価方法を規定する規定類一覧 ・佐賀大学における質保証の体制及び自己点検・評価の手順に関する細則 	<p><input type="checkbox"/>適切である</p> <p><input type="checkbox"/>改善を要する点がある</p>
<p>[2-2-4] 機関別内部質保証体制において、関係者(学生、卒業(修了)生、卒業(修了)生の主な雇用者等)から意見を聴取する仕組みを設けていること</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・(別紙様式 2-2-4) 意見聴取の実施時期、内容等一覧 ・佐賀大学学生による授業評価実施要項 ・佐賀大学の卒業生又は修了生を対象としたアンケート実施要領 ・佐賀大学の卒業生又は修了生が就職した企業等を対象とするアンケート実施要領 	<p><input type="checkbox"/>適切である</p> <p><input type="checkbox"/>改善を要する点がある</p>
<p>[2-2-5] 機関別内部質保証体制において共有、確認された自己点検・評価結果(設置計画履行状況等調査において付される意見等、監事、会計監査人からの意見、外部者による意見及び当該自己点検・評価をもとに受審した第三者評価の結果を含む。)を踏まえた対応措置について検討、立案、提案する手順が定められていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国立大学法人佐賀大学大学評価の実施に関する規則(資料 2-2-5-1) ・佐賀大学における質保証の体制及び自己点検・評価の手順に関する細則(資料 2-2-5-2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・(別紙様式 2-2-5) 検討、立案、提案の責任主体一覧 ・佐賀大学大学評価の実施に関する規則 ・佐賀大学学士課程における教育の質保証に関する方針 ・佐賀大学学士課程における教育の質保証の推進に係るガイドライン ・佐賀大学大学院課程における教育の質保証に関する方針 ・佐賀大学大学院課程における教育の質保証の推進に係るガイドライン ・各学部における教育課程点検・改善実施要項 ・佐賀大学教育コーディネーター制度実施規程 	<p><input checked="" type="checkbox"/>適切である</p> <p><input type="checkbox"/>改善を要する点がある</p>

<p>[2-2-6] 機関別内部質保証体制において承認された計画を実施する手順が定められていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀大学学士課程における教育の質保証に関する方針（資料 2-2-6-1） ・佐賀大学学士課程における教育の質保証の推進に係るガイドライン（資料 2-2-6-2） 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施の責任主体一覧 ・佐賀大学学士課程における教育の質保証に関する方針 ・佐賀大学学士課程における教育の質保証の推進に係るガイドライン ・佐賀大学大学院課程における教育の質保証に関する方針 ・佐賀大学大学院課程における教育の質保証の推進に係るガイドライン ・佐賀大学教育コーディネーター制度実施規程 	<p><input checked="" type="checkbox"/> 適切である</p> <p><input type="checkbox"/> 改善を要する点がある</p>
<p>[2-2-7] 機関別内部質保証体制において、その決定した計画の進捗を確認するとともに、その進捗状況に応じた必要な対処方法について決定する手順が定められていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀大学学士課程における教育の質保証に関する方針 	<ul style="list-style-type: none"> ・自律的な自己点検・評価の実施及び点検・評価結果を活用したマネジメントサイクルに関する方針 ・佐賀大学学士課程における教育の質保証に関する方針 ・佐賀大学大学院課程における教育の質保証に関する方針 	<p><input checked="" type="checkbox"/> 適切である</p> <p><input type="checkbox"/> 改善を要する点がある</p>
<p>（自由記載欄） ※基準に係る状況・特色、優れた成果が確認できる取組、根拠資料だけでは説明が難しいものに関する補足説明など、自由に記載ください。</p> <p>特になし</p>			

【改善を要する事項及び改善状況】

改善を要する事項	改善計画・改善状況	進捗状況
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし 		<p><input type="checkbox"/> 検討中</p> <p><input type="checkbox"/> 対応中</p> <p><input type="checkbox"/> 対応済</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <p>()</p>

基準 2-3 【重点評価項目】 内部質保証が有効に機能していること

分析項目	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
[2-3-1] 自己点検・評価の結果（設置計画履行状況等調査において付される意見等、監事、会計監査人からの意見、外部者による意見及び当該自己点検・評価をもとに受審した第三者評価の結果を含む）を踏まえて決定された対応措置の実施計画に対して、計画された取組が成果をあげていること、又は計画された取組の進捗が確認されていること、あるいは、取組の計画に着手していることが確認されていること	・ 計画等の進捗状況一覧（資料 2-3-1）	・（別紙様式 2-3-1） 計画等の進捗状況一覧	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある
[2-3-2] 機関別内部質保証体制のなかで、点検に必要な情報を体系的、継続的に収集、分析する取組を組織的に行っており、その取組が効果的に機能していること（より望ましい取組として分析）	・ 令和 4 年度「学生による授業アンケート」の実施に関する報告書（資料 2-3-2）	・ 国立大学法人佐賀大学大学評価の実施に関する規則 ・ 部局の自己点検・評価書	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある
[2-3-3] 機関別内部質保証体制のなかで、学生・卒業生を含む関係者からの意見を体系的、継続的に収集、分析する取組を組織的に行っており、その意見を反映した取組を行っていること（より望ましい取組として分析）		・ 学生、卒業生就職先アンケート等	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある
[2-3-4] 質保証を行うに相応しい第三者による検証、助言を受け、内部質保証に対する社会的信頼が一層向上している状況にあること（より望ましい取組として分析）		・ 外部評価結果（JABEE、教職大学院認証評価、医学教育分野別認証評価など第三者評価が該当）	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある
（自由記載欄） ※基準に係る状況・特色、優れた成果が確認できる取組、根拠資料だけでは説明が難しいものに関する補足説明など、自由に記載ください。 特になし			

【改善を要する事項及び改善状況】

改善を要する事項	改善計画・改善状況	進捗状況
・ 特になし		<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()

基準 2-4 教育研究上の基本組織の新設や変更等重要な見直しを行うにあたり、大学としての適切性等に関する検証が行われる仕組みを有していること

該当なし

基準 2-5 組織的に、教員の質及び教育研究活動を支援又は補助する者の質を確保し、さらにその維持、向上を図っていること

分析項目	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
[2-5-1] 教員の採用及び昇格等に当たって、教育上、研究上又は実務上の知識、能力及び実績に関する判断の方法等を明確に定め、実際にその方法によって採用、昇格させていること	・教員の採用・昇任の状況（令和4年度分） 採用2名。講師1名について書類選考・面接・模擬授業により選考を実施した。特任講師1名について書類選考・面接により選考を実施した。 ・明文化された規定類 国立大学法人佐賀大学教員人事の方針 国立大学法人佐賀大学教員選考規則 国立大学法人佐賀大学における任期を定めて雇用する教育職員に関する規程	・（別紙様式2-5-1） 教員の採用・昇任の状況 ・国立大学法人佐賀大学教員選考規則 ・各学部・研究科で定められた選考基準等	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある
[2-5-2] 教員の教育活動、研究活動及びその他の活動に関する評価を継続的に実施していること	[補足説明等] 国立大学法人佐賀大学における職員の個人評価に関する実施基準 佐賀大学全学教育機構における職員の個人評価に関する実施基準（資料2-5-2-1） 教員業績評価の実施状況 ・教員の業績評価の内容、実施方法、実施状況が確認できる資料（実施要項、業績評価結果の報告書等） 教員個人評価報告書（令和4年度）（資料2-5-2-2）	・（別紙様式2-5-2） 教員業績評価の実施状況 ・国立大学法人佐賀大学における職員の個人評価に関する実施基準 ・各学部における個人評価に関する実施基準	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある
[2-5-3] 評価の結果、把握された事項に対して評価の目的に則した取組を行っていること	・教員個人評価報告書	・（別紙様式2-5-3） 評価結果に基づく取組 ・個人評価集計・分析	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある
[2-5-4] 授業の内容及び方法の改善を図るためのファカルティ・ディベロップメント（FD）を組織的に実施していること	・FDの内容及び方法及び実施状況一覧（資料2-5-4）	・（別紙様式2-5-4） FDの内容及び実施状況一覧	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある
[2-5-5] 教育活動を展開するために必要な教育支援者や教育補助者が配置され、それらの者が適切に活用されていること	・教育支援者、教育補助者一覧（資料2-5-5） （令和4年度ティーチング・アシスタント事業実績書）	・（別紙様式2-5-5） 教育支援者、教育補助者一覧	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある
[2-5-6] 教育支援者、教育補助者が教育活動を展開するために必要な職員の担当する業務に応じて、研修の実施など必要な質の維持、向上を図る取組を組織的に実施していること	・令和4年度ティーチング・アシスタント実施報告書（資料2-5-6-1） ・佐賀大学ティーチング・アシスタント運用要領（資料2-5-6-2） ・国立大学法人佐賀大学ティーチング・アシスタント実施規程（資料2-5-6-3）	・（別紙様式2-5-6） 教育支援者等に対する研修等内容・方法及び実施状況一覧 ・TA報告書	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある

(自由記載欄)
 ※基準に係る状況・特色、優れた成果が確認できる取組、根拠資料だけでは説明が難しいものに関する補足説明など、自由に記載ください。
 2-5-4
 ・オンライン試験システムを全学的に普及するため、各学部においてFD講習会を実施した。

【改善を要する事項及び改善状況】

改善を要する事項	改善計画・改善状況	進捗状況
・特になし		<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()

領域3 財務運営、管理運営及び情報の公表に関する基準

該当なし

領域4 施設及び設備並びに学生支援に関する基準

基準4-1 教育研究組織及び教育課程に対応した施設及び設備が整備され、有効に活用されていること

分析項目	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
[4-1-1] 教育研究活動を展開する上で必要な施設・設備を法令に基づき整備していること			<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある
[4-1-2] 法令が定める実習施設等が設置されていること			<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある
[4-1-3] 施設・設備における安全性について、配慮していること	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の耐震化、バリアフリー化等の整備状況及び安全・防犯面への配慮の状況(資料4-1-3-1) ・施設・設備の)整備(耐震化、バリアフリー化等)状況(面積、収容者数)、利用状況等が確認できる資料(資料4-1-3-2) ・安全・防犯面への配慮がなされていることが確認できる資料 		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある
[4-1-4] 教育研究活動を展開する上で必要なICT環境を整備し、それが有効に活用されていること	ポートフォリオシステム 出席管理システム eラーニング オンライン試験システム オンライン会議システム Webex オンライン会議システム Zoom ・オンライン授業ポータル(佐賀大学)(https://www.oge.saga-u.ac.jp/online/)		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある

<p>[4-1-5] 大学組織の一部としての図書館において、教育研究上必要な資料を利用可能な状態に整備し、有効に活用されていること</p>			<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある
<p>[4-1-6] 自習室、グループ討議室、情報機器室、教室・教育設備等の授業時間外使用等による自主的学習環境が十分に整備され、効果的に利用されていること</p>	<p>・自主的学習環境整備状況一覧 (資料 4-1-6)</p>	<p>・(別紙様式 4-1-6) 自主的学習環境整備状況一覧</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある
<p>(自由記載欄) ※基準に係る状況・特色、優れた成果が確認できる取組、根拠資料だけでは説明が難しいものに関する補足説明など、自由に記載ください。</p> <p>4-1-4 ・昨年度企業と一緒に構築したオンライン試験システムについて、さらに使いやすくするため、仕様を検討し、機能を改善した。 ・オンライン試験システムを全学的に普及するため、各学部においてFD講習会を実施した。 ・オンライン試験システムの他大学への展開について企業と協議し、佐賀大学と開発企業との共同著作物と認定し、販売のためライセンス契約(ロイヤリティ)の締結を決めた。</p> <p>4-1-6 全学教育機構では、自学自習室1室を設置するとともに、自学自習室とは別に、飲食や私語が自由に行える学生ホールを2部屋設置している。自学自習室は1人ごとのブースで仕切られた自習室である。近年の学生は多少騒がしい場所での学習も好むようであり、学生ホールでも、食事、休息を取る学生に交じって、本を読んだり、パソコンを操作して自学自習する学生が目立っている。なお、自学自習室は遅い時刻まで学習に勤しむ学生もいるため、平成26年度には監視カメラを設置し、そのことを知らせる掲示を出して、自学自習を行う学生の安全を確保している。 自学自習スペース等の利用方法については、全学教育機構のウェブサイトに掲載して、学生への周知と活用促進を図っている。 学生が学内でオンライン授業を受講できるように、教室を2部屋オンライン授業用に開放した。</p>			

【改善を要する事項及び改善状況】

改善を要する事項	改善計画・改善状況	進捗状況
<p>・特になし</p>		<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()

基準 4-2 学生に対して、生活や進路、課外活動、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が行われていること

分析項目	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
<p>[4-2-1] 学生の生活、健康、就職等進路に関する相談・助言体制及び各種ハラスメント等に関する相談・助言体制を整備していること</p>	<p>学生相談・支援 https://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/sodan.html ・相談・助言体制等一覧(資料 4-2-1-1) ・保健(管理)センター、学生相談室、就職支援室等を設置している場合は、その概要や相談・助言体制(相談員、カウンセラーの配置等)が確認できる資料 ・各種ハラスメント等の相談体制や対策方法が確認できる資料(取扱要項等) (資料 4-2-1-2) ・生活支援制度の学生への周知方法(刊行物、プリント、掲示等)が確認できる資料 ・生活支援制度の利用実績が確認できる資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・(別紙様式 4-2-1) 相談・助言体制等一覧 ・国立大学法人佐賀大学学生支援室設置規則 ・国立大学法人佐賀大学学生支援室運営規程 ・国立大学法人佐賀大学キャリアセンター規則 ・佐賀大学保健管理センター規則 ・国立大学法人佐賀大学メンタルヘルス等相談窓口設置規程 	<p><input checked="" type="checkbox"/>適切である</p> <p><input type="checkbox"/>改善を要する点がある</p>
<p>[4-2-2] 学生の部活動や自治会活動等の課外活動が円滑に行われるよう、必要な支援を行っていること</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・(別紙様式 4-2-2) 課外活動に係る支援状況一覧 ・学生団体設置一覧 	<p><input type="checkbox"/>適切である</p> <p><input type="checkbox"/>改善を要する点がある</p>
<p>[4-2-3] 留学生への生活支援等を行う体制を整備し、必要に応じて生活支援等を行っていること</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・留学生への生活支援の内容及び実施体制 ・外国人留学生ガイドブック 2021 ・佐賀大学国際交流会館規程 ・留学生チューター一覧 	<p><input type="checkbox"/>適切である</p> <p><input type="checkbox"/>改善を要する点がある</p>
<p>[4-2-4] 障害のある学生その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への生活支援等を行う体制を整備し、必要に応じて生活支援等を行っていること</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・(別紙様式 4-2-4) 障害のある学生等に対する生活支援の内容及び実施体制 	<p><input type="checkbox"/>適切である</p> <p><input type="checkbox"/>改善を要する点がある</p>

<p>[4-2-5] 学生に対する経済面での援助を行っていること</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・(別紙様式 4-2-5) 経済的支援の整備状況、利用実績一覧 ・佐賀大学入学料及び授業料免除等規程 ・佐賀大学入学料及び授業料免除選考基準 ・佐賀大学かささぎ奨学金実施規程 ・古賀常次郎記念奨学金の要項 	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある
--	--	--	---

(自由記載欄)
 ※基準に係る状況・特色、優れた成果が確認できる取組、根拠資料だけでは説明が難しいものに関する補足説明など、自由に記載ください。

4-2-1
 ・出席管理システムから「対応を要する学生」を自動抽出し、各学生への学生生活課の対応状況をコメント表示できる機能を開発し、運用を開始した。
 ・出席管理システムの9年分の出欠データを統計処理した結果を資料にまとめ、関係部署へ配布した

【改善を要する事項及び改善状況】

改善を要する事項	改善計画・改善状況	進捗状況
<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 		<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()

領域5 学生の受入に関する基準

該当なし

領域6 教育課程と学習成果に関する基準

基準6-1 学位授与方針が具体的かつ明確であること

該当なし

基準6-2 教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること

分析項目	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
[6-2-1] 教育課程方針において、学生や授業科目を担当する教員が分かりやすいように、 ①教育課程の編成の方針、 ②教育課程における教育・学習方法に関する方針、 ③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること	全学教育機構 教育課程編成・実施の方針 https://www.oge.saga-u.ac.jp/students_01a.html	・教育課程編成・実施の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある
[5-2-2] 教育課程方針が学位授与方針と整合性を有していること	・公表された教育課程方針及び学位授与方針 全学教育機構 教育課程編成・実施の方針	・教育課程編成・実施の方針 ・学位授与の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある
(自由記載欄) ※基準に係る状況・特色、優れた成果が確認できる取組、根拠資料だけでは説明が難しいものに関する補足説明など、自由に記載ください。 特になし			

【改善を要する事項及び改善状況】

改善を要する事項	改善計画・改善状況	進捗状況
・特になし		<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()

基準6-3 教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること

分析項目	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
[6-3-1] 教育課程の編成が、体系的性を有していること	・体系的が確認できる資料(カリキュラムマップ、コース・ツリー、ナンバリング等) 全学教育機構コースナンバリング(教務課資料)(資料6-3-1) ・授業科目の開設状況が確認できる資料(コース、教養・専門基礎・専門等の分類、年次配当、必修・選択等の別) 全学教育機構履修の手引き【2022年度】 https://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/tebiki-r4-kyoyo.pdf	・履修モデル ・カリキュラムマップ ・コースナンバリング	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある

<p>[6-3-2] 授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっていること</p>	<p>・シラバス 2022年度シラバス（教務課データ） https://lc2.sc.admin.saga-u.ac.jp/lcu-web/SC_06001B00_21/init ・その他自己点検・評価において体系的や水準に関する検証を実施している場合はその状況がわかる資料 シラバスの点検及び改善に関する要項 シラバス点検フロー シラバス作成の手引き （全学教育機構）シラバス点検結果報告（R4）（教務課データ） （資料 6-3-2） （全学教育機構）シラバス点検表（R4） （教務課データ）</p>	<p>・シラバス ・シラバス点検に関する要項 ・シラバス点検フロー ・シラバス作成の手引き ・シラバス点検結果</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある</p>
<p>[6-3-3] 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること</p>	<p>・明文化された規定類 佐賀大学学則 佐賀大学教養教育科目履修規程（8条） https://kiteikanri2011.admin.saga-u.ac.jp/doc/rule/441.html 他の大学において履修した授業科目の認定のための審査内規 放送大学における学修（単位互換によるもの）の認定のための審査内規</p>	<p>・佐賀大学学則 ・佐賀大学大学院学則 ・他の大学において履修した授業科目の認定のための審査内規 ・各学部・研究科の該当する規則</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある</p>
<p>（自由記載欄） ※基準に係る状況・特色、優れた成果が確認できる取組、根拠資料だけでは説明が難しいものに関する補足説明など、自由に記載ください。 特になし</p>			

【改善を要する事項及び改善状況】

改善を要する事項	改善計画・改善状況	進捗状況
<p>6-3-1 副専攻で学ぶ主たる分野についてさらに深めるための体系的科目履修の実施が課題</p>	<p>令和5年度入学生から、修了を希望するコースのインターフェース科目4科目8単位と、関連する基本教養科目から4科目8単位選択する形に変更し、関連する分野で構成された体系的なプログラムにした。</p>	<p><input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()</p>

基準 6-4 学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること

分析項目	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
[6-4-1] 1年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっていること	・1年間の授業を行う期間が確認できる資料（学年暦、年間スケジュール） 佐賀大学学則 https://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/gakusoku.html 令和4年度学年暦 https://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/gakunen_reki_r04_2.pdf	・佐賀大学学則 ・佐賀大学大学院学則 ・学年暦	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある
[6-4-2] 各科目の授業期間が10週又は15週にわたるものとなっていること。なお、10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10週又は15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果をあげていること	・1年間の授業を行う機関が確認できる資料（学年暦、年間スケジュール） ・令和4年度学年暦 https://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/gakunen_reki_r04_2.pdf ・シラバス 2022シラバス https://lc2.sc.admin.saga-u.ac.jp/lcu-web/SC_06001B00_21/init	・学年暦 ・シラバス	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある
[6-4-3] 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること	・シラバスの全件、全項目が確認できる資料（電子シラバスのデータ（csv）等）2022シラバス https://lc2.sc.admin.saga-u.ac.jp/lcu-web/SC_06001B00_21/init	・シラバス ・履修の手引き	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある
[6-4-4] 教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当していること	・シラバス 2022シラバス https://lc2.sc.admin.saga-u.ac.jp/lcu-web/SC_06001B00_21/init	・（別紙様式 6-4-4）教育上主要と認める授業科目 ・シラバス	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある
<p>（自由記載欄）</p> <p>※基準に係る状況・特色、優れた成果が確認できる取組、根拠資料だけでは説明が難しいものに関する補足説明など、自由に記載ください。</p> <p>・留学を希望する学生向けに、英語の授業だけでなく、基本教養科目やインターフェース科目の授業をも英語で行う、グローバル人材養成プログラム「学術英語プログラム(Program for Academic and Global English)」を令和3年度に開設し、令和4年度からより多くの学生が受講できるよう、定員を40名から50名に増やした。</p> <p>・令和4年度から、PAGEの海外派遣を伴う指定科目「Immersion Program」を「PAGE Overseas Practicum」と名称変更し、オンライン留学ができる科目「PAGE Online Immersion Program」を新設するなど、英語教育の改革と充実を図っており、その受講希望者は年々増加している。令和4年度の受講希望者は242人であった。</p>			

【改善を要する事項及び改善状況】

改善を要する事項	改善計画・改善状況	進捗状況
6-4-3 語学教育における適正なクラス規模の実現	令和5年度から、限られた人員で少人数クラスを実現するため、英語Dをe-learning型の大人数クラスにすることで、英語Cについては少人数クラスにすることができた。	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()

基準 6-5 学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること

分析項目	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
<p>[6-5-1] 学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていること</p>	<p>・履修指導の実施状況（資料 6-5-1） [補足説明等]</p>	<p>・(別紙様式 6-5-1) 履修指導の実施状況 ・ 新生オリエンテーション資料</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>適切である <input type="checkbox"/>改善を要する点がある</p>
<p>[6-5-2] 学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われていること</p>	<p>・学習相談の実施状況（資料 6-5-2） [補足説明等]</p>	<p>・(別紙様式 6-5-2) 学習指導の実施状況 ・ 通信教育を行う課程を置いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>適切である <input type="checkbox"/>改善を要する点がある</p>
<p>[6-5-3] 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施していること</p>	<p>・社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組（資料 6-5-3） [補足説明等]</p>	<p>・(別紙様式 6-5-3) 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組 ・ インターンシップ参加実施状況</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>適切である <input type="checkbox"/>改善を要する点がある</p>
<p>[6-5-4] 障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援を行う体制を整えていること</p>	<p>・履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況 佐賀大学学生支援室集中支援部門 HP https://www.ssd.saga-u.ac.jp/ ・チューター等を配置している場合はその制度や配置状況が確認できる資料 該当なし ・留学生に対する外国語による情報提供（時間割、シラバス等）を行っている場合は、その該当箇所 該当なし ・障害のある学生に対する支援（ノートテーカー等）を行っている場合は、その制度や実施状況が確認できる資料 ・特別クラス、補習授業を開設している場合は、その実施状況（受講者数等）が確認できる資料 該当なし ・学習支援の利用実績が確認できる資料 該当なし [補足説明等]</p>	<p>・(別紙様式 6-5-4) 履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況 ・ 佐賀大学 学生支援室 集中支援部門</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>適切である <input type="checkbox"/>改善を要する点がある</p>

<p>(自由記載欄) ※基準に係る状況・特色、優れた成果が確認できる取組、根拠資料だけでは説明が難しいものに関する補足説明など、自由に記載ください。</p> <p>・特になし</p>
--

【改善を要する事項及び改善状況】

改善を要する事項	改善計画・改善状況	進捗状況
・特になし		<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()

基準6-6 教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること

分析項目	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
[6-6-1] 成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること	全学教育機構履修の手引き【2022度】 https://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/tebiki-r4-kyoyo.pdf ・成績評価基準 佐賀大学成績判定等に関する規程 2022 シラバス	・佐賀大学成績判定等に関する規程 ・シラバス	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある
[6-6-2] 成績評価基準を学生に周知していること	・成績評価基準を学生に周知していることを示すものとして、学生便覧、シラバス、オリエンテーションの配布資料等の該当箇所 学生便覧【令和4度】(P74) https://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/wp-content/uploads/2022/03/660ebfd65b2c426d1c06ad972ea996ce.pdf	・学生便覧 ・履修案内	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある
[6-6-3] 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること	・成績評価の分布表 成績分布表(非公表)(教務課データ) ・成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料 (全学教育機構)成績評価の分布の点検・報告書_2022 務課データ) ・GPA制度の目的と実施状況についてわかる資料 佐賀大学における成績評定平均値に関する規程 GPA (Grade Point Average) の計算例	・成績評価の分布表 ・成績評価の分布の点検・報告書 ・佐賀大学における成績評定平均値に関する規程 ・履修細則	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善を要する点がある

<p>[6-6-4] 成績に対する異議申立て制度を組織的に設けていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学生からの成績評価に関する申立ての手続きや学生への周知等が明示されている資料 学生便覧【令和4度】(P107) ・申立ての内容及びその対応、申立ての件数等の資料・データ 成績評価に関する異議申立て(R4(教務課データ)) ・成績評価の根拠となる資料(答案、レポート、出席記録等)を保存することを定めている規定類 佐賀大学学生の成績評価の異議申立ての手続きに関する要項(第3の4) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生便覧 ・佐賀大学学生の成績評価の異議申立ての手続きに関する要項 ・成績評価に関する異議申立て件数等のデータ 	<p><input checked="" type="checkbox"/>適切である</p> <p><input type="checkbox"/>改善を要する点がある</p>
<p>(自由記載欄) ※基準に係る状況・特色、優れた成果が確認できる取組、根拠資料だけでは説明が難しいものに関する補足説明など、自由に記載ください。</p> <p>特になし</p>			

【改善を要する事項及び改善状況】

改善を要する事項	改善計画・改善状況	進捗状況
<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 		<p><input type="checkbox"/> 検討中</p> <p><input type="checkbox"/> 対応中</p> <p><input type="checkbox"/> 対応済</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <p>()</p>

基準6-7 大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること

該当なし

基準6-8 大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること

該当なし

IV 研究に関する状況と自己評価

1) 研究の領域における活動実績の集計と分析

【著書・論文・学会報告】

① 業績の集計

区分		実施件数	実施教員数(人)
著書	単著	0	0
	共著	2	2
論文	単著	4	4
	(査読付き)	(1)	(1)
	共著	5	3
	(査読付き)	(2)	(2)
学会報告		14	5
プロジェクト研究		9	6

② 業績の分析

- 著書の出版は、単著0件、共著2件であった。
- 論文は単著論文が4本、共著論文が5本の合計9本で、教員1人当たり0.6本となる(2022年度の特任教員を除いた専任教員数は14名)。これらの論文のうち査読付き論文は、単著1件、共著2件であった。前年度と比較すると半減しており、当機構の教員数に照らしても高い数値ではない。
- 学会報告は14件であり、単純に平均すれば、教員1人当たり1件の報告が行われている。前年度と比較すると、学会発表件数は倍増している。
- 以上のことから、機構では相応の研究活動が行われてはいるが、一定の質を評価された研究活動を高める必要がある。
- 2022年度は前年度に比較して業績が低迷しており、更なる研究活動が求められる。

【科研費等、外部資金の獲得】

① 業績の集計

区分		実施件数	実施教員数(人)
科学研究費	申請	7	7
	(採択)	(2)	(2)
	継続	2	2
受託研究等		2	2

② 業績の分析

- 令和4年度科学研究費補助金に申請した件数は7件(申請者は7人)であった。継続課題を有しているものが2名、申請していないものが4名であった。
- 申請7件のうち採択は2件であったため、採択率は28.6%であった。
- 受託研究等は2件であった。
- 以上のことから、機構は教育に力点を置いているとはいえ、科研費や受託研究による研究活動の実施についても、一定の実績を上げている。

【その他の研究動向】

① 業績の集計

区分	実施件数	実施教員数(人)
プロジェクト研究・共同研究	9	6
地域に密着した研究	7	5
研究成果等の社会への還元	7	2
研究成果等による知的財産の創出・取得	3	3
受託研究等による外部資金の獲得	2	2
その他の研究業績	14	7

② 業績の分析

- プロジェクト研究・共同研究の実績は9件、地域に密着した研究は7件、研究成果等の社会への還元は7件であり、前年度と比較して同等の業績を上げている。
- プロジェクト研究・共同研究には、6人の教員が取り組み、研究成果の社会への貢献についても2人の教員が取り組んでいる。また、受託研究等による外部資金の獲得については2件であった。
- 研究成果等による知的財産の創出・取得した教員は3名であった。
- 以上から、研究に対する機構の教員の研究への取り組みは、それなりの評価を得ているものと思われる。

V 国際交流及び社会連携・貢献に関する状況と自己評価

1) 国際交流・社会貢献の領域における活動実績の集計と分析

【国際交流】

① 業績の集計

区分	実施件数	実施教員数(人)
国際的学術交流事業への協力貢献	0	0
留学生の受入・派遣・指導	1	1
学術交流協定を締結する大学との学生交流	0	0
英語版ホームページの設置	1	1
国際学会、国際シンポジウムの開催・参加	1	1
国際共同研究者の受入	0	0
制度・組織を利用した国際交流	0	0
国外との共同研究の推進	0	0

② 業績の分析

- 国外との共同研究は0件である。
- 国際学会、国際シンポジウムの開催・参加についても1件であった。
- 国際共同研究者の受入など、さらに踏み込んだ活動に向けた努力を要するものと判断しうる。
- COVID-19 感染症対策のため、業績が令和2年度から継続してやや低下しているのはやむを得ない状況であったと言える。

【社会貢献】

① 業績の集計

区分	実施件数	実施教員数(人)
国内での共同研究の実施	6	4
市民公開講座・開放講座の開設・実施	10	4
地域の要請による授業・講演	18	6
審議会や委員会、関連学協会等の活動	37	5
地域産業や地域社会への知識・技術の移転	6	2
市民活動の支援	2	1
その他の社会貢献活動	5	3

② 業績の分析

- 地域の要請による授業・講演が14件、国内での共同研究が6件、市民公開講座等の開設実施は7件と全般的に見て社会貢献分野において活発な推進状況にあると言える。
- この領域においては前年度の実績と比較して増加してきており、COVID-19 感染症の影響が残る中で市民向けイベント等の活動が復活してきたと言える。
- 自治体を中心とした行政上の審議会や委員会、関連学協会の活動実績は37件で前年度と同等であり、当機構の教員が有する高度の専門知識を用いた活動は、極めて有意義かつ重要な場面での社会貢献を果たしていると言える。

- 地域産業や社会への知識・技術移転が6件、市民活動への支援が0件あって、2人の教員が当たっており、地域の住民生活への直接的な貢献活動が実施されている。
- 以上から、地域貢献活動は順調な内容であったと評価しうる。

2) 国際交流・社会貢献領域における改善を要する事項

- コロナ禍で国際交流事業が縮小しており、令和4年度も引き続きオンラインでの国際交流を実施した。
対面による国際交流再開が課題である。
- COVID-19感染症の影響が残る中で対面での授業開放を実施しているが、受講者数は回復傾向（前学期延べ79名、後学期延べ61名）にある。県内企業へのPR等、更なる受講者増を目指す。

VI 組織運営・施設・その他部局の重要な取組に関する状況と自己評価

- ・佐賀大学が令和2年4月に策定した将来構想「佐賀大学のこれから—ビジョン 2030—」が定めたアクションを遂行するために、4つのプロジェクトを継続して実行した。

〔支援組織〕 教学マネジメント推進室の取組

教育企画部門、教育 IR 部門、質保証部門を設け、各部門で活動を推進した。

教学マネジメント推進室専任の教員1名を公募し、10月に着任した。

- 教育企画部門
 - ・教育改善取り組み支援の実施。
 - ・「教学マネジメントに基づく改善事例の評価観点」（チェック表）を作成。
 - ・「教学マネジメントに基づく改善事例の評価観点」によって全学的に点検する取り組み。
 - ・各部局提出の教育善事例の課題解決に向けた取組や改善による効果等を評価。
- 教学 IR 部門
 - ・教学マネジメントシステム（LAP システムなど）の構築に向けての作業。
 - ・佐賀大学の教育の成果や特徴について、データを用いて分かりやすくステークホルダーに発信することを目的とした「教学 IR 特設 Web ページ」を開設（令和5年度に公開予定）に向けた項目検討と作業。
- 質保証部門
 - ・TP 作成ワークショップに実施。
 - ・TP に関わる今後の体制の検討およびそのためのアンケート。
 - ・外部アセスメント PROG の活用について学部教育コーディネーターを参加者として、FD の実施。
 - ・PROG 評価項目と佐賀大学学士力との結び付けの検討。
 - ・教育マネジメント推進室として、教育コーディネーターと合同会議を2回開催し、学修成果・教育成果の可視化機能を備えたカリキュラム・ポートフォリオの開発・アセスメントする体制など教学マネジメントの推進を各部局の教育活動に反映させていけるように情報を共有している。

〔支援組織〕 ICT 教育推進室の取組

- e ラーニングの継続的な実施
 - ・ネット授業：計 8 科目・1,105 名（前学期 2 科目・319 名，後学期 + 科目・789 名）を開講。
 - ・オンライン試験システム（OPES）：計 105 科目・8,025 名（前学期 51 科目・4,148 名，後学期 52 科目・3,343 名，通年 2 科目・534 名）を開講。
 - ・入学前学習：医学部以外の 5 学部 685 名の入学予定者に対し実施。
佐賀県スーパーサイエンスハイスクール事業の一環でデータサイエンスに関する講義を致遠館高等学校の生徒 22 名に対し実施。
 - ・教職員向け講座を開講。
- ICT 利活用の推進に向けた FD /SD 講座の開講
 - ・開発したオンライン試験システム普及のため、各学部に出向き教員を対象とした FD 講習会を実施した。
 - ・Web ページとして「オンライン授業ポータル（佐賀大学）」を作成し、オンライン授業関連資料や

動画を作成して教職員に提供した。(<https://www.oge.saga-u.ac.jp/online/>)

〔支援組織〕生涯学習センターの取組

○ 授業開放の実施

- ・生涯学習に関する取り組みである授業開放において、教養教育科目だけでなく、学部が開設する専門科目に関しても対象を拡大し、オンラインおよび対面で実施した。
- ・2022年度前学期に教養教育科目 27 科目、専門科目 20 科目を授業開放として開講し、延べ 79 名の参加があった。後学期は教養科目 28 科目、専門科目 23 科目を授業開放科目として開講し、延べ 61 名の参加があった。

○ 公開講座の実施

- ・アンケートで要望が多かった佐賀の歴史と文化に関する公開講座を開講し、70名の参加があった。
- ・前年度好評だった防災・減災に関する公開講座を、令和 4 年度は「佐賀の防災・減災を考える」と名称を変え、対面とオンラインのハイブリッドで実施し、52名の参加があった。

〔支援組織〕数理・データサイエンス教育推進室の取組

- ・令和 4 年度入学生から、佐賀大学データサイエンス教育プログラム（リテラシーレベル）を全学必修化した。
- ・令和 4 年度入学の理工学部学生から、佐賀大学データサイエンス教育プログラム（応用基礎レベル）を実施した。
- ・佐賀大学データサイエンス教育プログラム（リテラシーレベル）が「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」認定された。（認定期間：2022 年 8 月 24 日～2027 年 3 月 31 日）
- ・令和 4 年度に理工学部について「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度（応用基礎レベル）」に申請する準備を整えた。
- ・佐賀県スーパーサイエンスハイスクール事業の一環で、理工学部のデータサイエンスに関する講義の一部について、致遠館高等学校理数科 2 年生の希望者 22 名が受講できるようオンデマンドにより講義を提供し、その評価を行った。